

6月度月例句会 会報・HP掲載句

六月詠草

兼題：さくらんぼ、蚊帳、当季雑詠

さくらんぼ色づく頃に嫁ぐ姉	清家 静楓
数へつつ子供の分けるさくらんぼ	石原 克己
ふにふにのほつぺもぐもぐさくらんぼ	佐藤 政百
背伸びしてまた背伸びして吊れぬ蚊帳	中山 知祐
浮世絵に蚊帳の感触まざまざと	城戸崎雅崇
青蚊帳のざらざら麻の朝ぼらけ	小野 信
蚊帳入る仕草も遠き昭和の日	森 邦彦
蚊帳の中ただの一匹で大騒ぎ	安井 正浩
端居してさて何思ひ出すべきか	六川 里風
箱根路やバス停が見ゆ沙羅の道	大仲 正敏
遠き日や知覧に振られし夏帽子	宮川 至剛
さみどりに衣更へせり磨崖仏	生江沢五風
紫陽花や小さな母の大往生	眞田 宗興
梅雨入りに持ち歩く傘確かめる	川田 勝美
	以上